|栃木の在村記録

幕末維 新期の胎動と展開 第四卷

畠 山氏陣屋役所日記(二) 明治三年(一八七〇)元治元年(一八六四)

岡 田親之江戸日記

弘化四年(一八一弘化二年(一八一 (一八四七) 四五)

料訴訟関係文書と記録

肥

天保一三年 (一八四二) 弘化四年 (一八四七)

幕末維新期の胎動と展開第三巻 田中正弘等 岡田親之日記 🗀 | 翻『紫白松子 | 畠山氏陣屋 後所日記 (一 統主義) | 公題 幕末維新期の 栃木市史料叢書 第一集 肥料訴訟関係文書と記録 疑罪(八郎) 畠山氏陣屋 役所日記 (二) 騒 靉(八郎) 第四卷

> 目 次

編

田

中正

弘

(元國

一學院

大

解 題

「江戸日記」の 概要と「参考

第

史料」につい 7

第二章 「仮日記」「岡田主殿日記」「 御

在中日 記 の , 性 格 1= つ

第三章 のし御年玉」と江戸の訴訟

史 料

幕末維新期の胎動と展開物が中央科験書籍1集一家の発売

第二卷 田中正弘福

畠 山氏 陣屋 役所日記

肥料訴 訟中、 岡田親之の江戸日記 帰

幕末維新期の胎動と展開第一番を開発する

田中正弘編

北北州湖 CE AND SHIT THE SAME OF

村 中日 記

肥 料訴訟関係文書と記録

> 栃木短 期 大学教授)

定 判 価 九五 000円

B 5

100二八二(二一)二四九七 生涯学習部 栃木市教育委員会 (栃木市役所 月~金曜日 午前九時~午後五時 文化課

100二八二 (二二)0001 岡田記念館 午前九時三十分~午後四時三十分 土日月祝日のみ開館